

まちのニュース カメラアイ ～地域のお話をお届けします～



2/23
(金)

6年生が町の未来を提案

和寒小学校で「和寒の未来を考える会」が開催され、6年生23名と奥山町長が意見交換を行いました。

児童からは「観光」「産業」「住民サービス」の3つのテーマについて他自治体との比較や見込まれる成果などの発表があり、町長は現在の和寒町の施策を紹介しながら、児童たちと未来のまちづくりについて議論を深めていました。



2/12
(月)

3/21
(水)

スキー協会主催 アルペン2大会終了

2月12日(月・祝)に和寒東山ジヤイアントスラローム大会が、3月21日(水・祝)に全道ジュニアアルペンスキー大会が和寒町スキー協会主催により開催されました。

幼児から大人まで全道各地から多くの参加があり、和寒町の選手も健闘しました。

大会結果は和寒町スキー協会ホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。



2/28
(水)

アイスクャンドル228個を点灯

三浦綾子さんの小説「塩狩峠」のモデルとなった、列車事故で命をかけて乗客を救った長野政雄さんの命日、2月28日に合わせて、しおかりキャンドルナイトが開催されました。

ろうそくの幻想的な光に包まれたJR塩狩駅周辺には、小説のファンなどが続々と追悼に訪れ、冬の塩狩峠を肌で感じていました。



2/13
(火)

北海道のヘルシーフード大活用術

第2回女性セミナー「北海道のヘルシーフード大活用術」を公民館で開催しました。

東川町の料理研究家 横山アディナさんを講師に、身近な食べ物が調理の仕方ですべて健康に良い食べ方になる方法の紹介や、横山さんが作った「植物性乳酸発酵キャベツ」「黒豆のガトーショコラ」の試食で、集まった34名の参加者は食と健康への意識を高めていました。



身体操作と呼吸の時間

第3階女性セミナー「身体操作と呼吸の時間」を公民館で開催しました。

昨年も大好評だったこのセミナーは中和の中居栄幸さんを講師に、自分の体の使い方や呼吸の大切さを学びました。

中居さんからは「自分の体とどう向き合うか。頑張らない、無理しない」と話され、27名の参加者は姿勢を正しながら聞き入っていました。



住民サービス向上へ郵便局と協定締結

町と郵便局は、住民サービス向上のための包括的連携に関する協定を締結しました。

この協定は、お互いの人的、物的資源を有効に活用し、安心、安全なまちづくりや未来を担う子どもの育成のために協力するという内容です。

広富副町長から「協定の締結を機に、これまで以上に郵便局のご協力をいただけることを大変心強く思っています」と御礼を申し上げ、木村和寒郵便局長からは、「これまで以上に福祉の目線を持って仕事をしていきたい」とあいさつをいただきました。



和寒と剣淵の若者が交流

青年交流事業「What's some mosh(わっさもっしゅ)」を行いました。

3回目となった今回は、剣淵町と合同でボーリング大会を開催しました。

和寒町20名、剣淵町8名の参加者は、罰ゲームをかけた白熱のチーム戦ですぐに意気投合。その後の懇親会でも近隣に住む若者同士の交流を深めていました。



三和から羽ばたけ 三和高校卒業式

札幌自由が丘学園三和高等学校の卒業証書授与式が行われました。

前日から続く悪天候の影響で、亀貝校長と卒業生10名のうち4名が出席できず、6名が杉野副校長から卒業証書を受け取りました。

卒業生代表からは「困難があっても、友人や家族の助けで乗り越えられた。希望を持って社会に飛び出していきたい」と力強い最後のあいさつが述べられました。